

1. 書籍情報

NHK取材班（板垣淑子・小林竜夫）

『外国人労働者をどう受け入れるか「安い労働力」から「戦力」へ』

NHK出版新書 2017年

2. 目次

はじめに

第一章 最下層労働者たちの実態—シェルターで見た奴隷労働

第二章 外国人受け入れの建前と矛盾—それでも日本で働きたい？

第三章 「共生」社会を目指して—2020年の労働力 どうなる？

おわりに

3. 著者紹介

板垣淑子（いたがき・よしこ）

NHK名古屋放送局報道部チーフ・プロデューサー。1970年生まれ、

1994年NHK入局。NHK社会番組部「クローズアップ現代+」などを経て現職。

「エイズ感染爆発をどう防ぐのか—2003年」「ワーキングプア—2006年」などを担当

小林竜夫（こばやし・たつお）

NHK青森放送局放送部ディレクター。1971年生まれ、1993年NHK入局。

社会情報番組部、社会番組部「クローズアップ現代+」などを経て現職。

NHKスペシャル「巨樹 生命の不思議—2006年」「ワーキングプア—2006年」などを担当。共著に『新日鉄 VS ミタル』（ダイヤモンド社）。

4. 選定理由

1. 現在の外国人労働者雇用の実態
2. 外国人労働者はそもそも必要なのか
3. 外国人労働者を受け入れるメリット
4. 外国人労働者を受け入れるデメリット
5. 現時点での課題
6. 日本と海外での外国人労働者の違い
7. なぜ日本に労働しに来るのか
8. 働き手が減っているためこれからどう補っていくのか知りたい
9. どのようにすれば外国人労働者が日本に来てくれるのか
10. 外国人労働者と共存するためにはどうすればよいのか